

【保存計画】

現在まで継承されてきたこの地区の歴史と伝統、それらを彩る文化遺産、それらによって形成される歴史的風致を守り伝える。

【保存整備の考え方】

伝建地区内では、全ての建築行為に許可が必要。

●伝統的建造物（見世蔵、木造店舗、土蔵等）
修理基準による修理（補助金あり）

●その他の建築物等

歴史的風致を損なわないように建築
許可基準：高さ10m以下、例幣使街道
沿いは通りに面して建築し、下屋庇を設
け、2方向以上の勾配屋根

■おわりに

こうして整備された栃木の街並みは、
修景により建直された真新しい蔵や、当
時の姿を残したままの蔵や洋館、中高
層ビル等、様々な種類の建物が建ち並
んでいながらも、一体感のある空間でし
た。そう感じた要因の1つとして、多くの
建物がのれんや簾による日除けの工夫
をしていたことがあると思います。



まちづくりには、厳しい建築の制限だけでなく、細やかで
手軽な、住民の方が取り組みやすいルールも取り入れること
が必要だと今回の視察で感じました。

お知らせ

平成24年度まちづくり月間 まちづくり功労者国土交通大臣表彰

国土交通省では、豊かでうるおいのあるまちづくりを推
進するため、昭和58年から毎年6月を「まちづくり月間」
と定め、まちづくり功労者に対する国土交通大臣表彰等
の様々な啓発活動を実施しています。

茨城県では下記団体が表彰されました。

- かしてつ沿線地域公共交通戦略会議
- 日立市、東日本旅客鉄道株式会社水戸支社
妹島和世



【鹿島鉄道跡地バス専用道化事業】



【表彰式】



【日立駅自由通路・橋上駅舎の整備】

守谷市「リブコム住みよいまちづくり国際賞(銀賞)」を受賞

「リブコム住みよいまちづくり国際賞」は国連環境計画(UNEP)の承認・協賛で、現在、国際的
に最も高い権威を持つといわれております。

守谷市は、平成24年11月に開催された審議会において「Green City Moriya Worth to live
for all(誰にでも住み良い、緑の守谷市)」をテーマに、1960~70年代以降、半世紀にわたる「まち
づくり」について、審議基準6項目(自然・人口景観の向上、芸術・文化・歴史、環境改善の優良活動
事例、地域の参画・取り組み機会と権限の付与、健康的なライフスタイルの実現、戦略的な将来計画)
に対応した、プレゼンテーションを実施し、絶対評価において、「Silver Award(銀賞)」を受賞しま
した。

Com Awards - ALAIN City

